

日本ジオパーク
新規認定を
めざして…

ジオパークって どうやってなるが？ その2



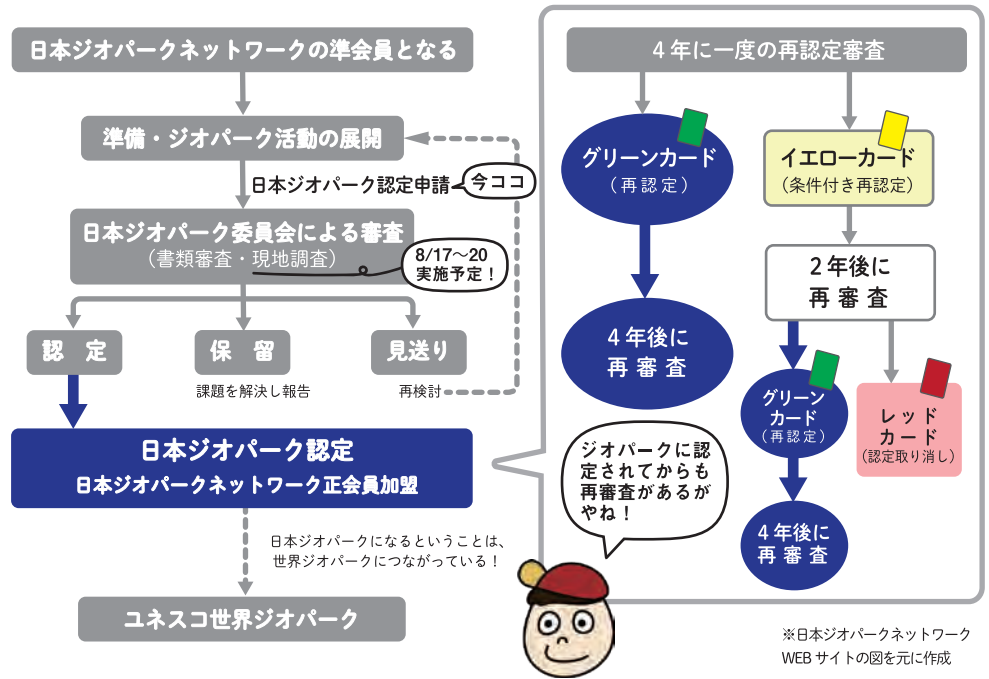
この右の図は、先月話した日本ジオパークになるプロセスを図に表したものだよ。土佐清水は2014年に日本ジオパークネットワークの準会員になって、ジオパークの活動を継続してきたよ。



今月、現地調査が行われるがやね！



そうだよ。土佐清水の大地の素晴らしさだけでなく、どんな活動が地域で行われているか見てもらおうよ！今回来ていただく調査員の皆さんにメッセージをいただいたので下で紹介するね。土佐清水の大地の恵みを満喫してもらいたいね！



現地調査員の紹介

現地調査は8月17日(火)～20日(金)に実施予定！
日本ジオパーク委員会から、こちらの調査員の皆さんが土佐清水にやってきます！



宮原 育子 氏

宮城学院女子大学
現代ビジネス学部
教授



田中 裕一郎 氏

産業技術総合研究
所 地質調査総合
センター長補佐



松原 典孝 氏

兵庫県立大学大学院
地域資源マネジメン
ト研究科講師

◆**専門分野** | 旅行会社に勤務後、大学では自然地理学を学び、高山帯の植生の研究をしていました。今は地域資源を活かした観光まちづくりが専門です。

◆**土佐清水で楽しみにしていること**

初めての訪問です。足摺岬と太平洋、宗田節、何でも楽しみです。土佐清水のことを色々知りたいです。

◆**ジオパークの好きなおとこ**

大人から子ども、役場の人から企業や学者まで、立場を超えて地域の自然や歴史・文化、暮らしなどを愛する活動であること。ジオパーク関係者というだけでなくすぐに仲良くなれるところ。

◆**現地調査に向けてひとこと**

皆さんにお会いすることを楽しみにしています！

◆**専門分野** | 地質学 100分の1ミリサイズの植物プランクトンの化石から地層を区分して、地球の変遷を明らかにする微化石層序学を専門にしています。

◆**土佐清水で楽しみにしていること**

地質が専門ですので、竜串、足摺岬の地質と風景を楽しみにしています。また、足摺岬で見られるラパキビ花崗岩は日本で見られるのはここ、土佐清水だけです。ぜひ、見ておきたいと思っています。

◆**ジオパークの好きなおとこ**

大地と人の営みの繋がりが地球科学の大きなスケールを体感できること。

◆**現地調査に向けてひとこと**

皆さんにお会いすることを楽しみにしています！

◆**専門分野** | 地域地質学を専門にしています、それをベースにジオパークを研究しています。

◆**土佐清水で見たいこと** | ①地域の人がジオパークに「楽しんで」参画しているか②観光関係者がジオパークを使って何かやろうと思っているのか、を見たいと思います。

◆**ジオパークの好きなおとこ** | 様々な立場の人が、ジオパークを舞台にコミュニケーションをとり、全ての人が主役になれる。その地域の「地球で生きてきた工夫」に感動し、尊敬する、それによって地域を見直すことが、ジオパークではできると信じています。

◆**現地調査に向けてひとこと** | 皆さんとお話するのが楽しみです。私は山陰海岸ジオパークの学術専門員もしているの、同じ仲間として、良いところ、難しいところを共有できたら嬉しいです。

